

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和3年1月19日（火）午後1時 議場

出席委員（7名）

（委員長）岡 村 英 治 （副委員長）矢田貝 香 織
安 達 卓 是 門 脇 一 男 田 村 謙 介 土 光 均
前 原 茂

欠席委員（1名）

尾 沢 三 夫

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 佐藤議事調査担当係長

傍 聴 者

一般1人

協議事件

- ・市議会だよりについて
- ・議会報告会等について
- ・その他

~~~~~

### 午後1時00分 開会

○**岡村委員長** ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。

尾沢委員から欠席の届け出がありましたので、ご報告いたします。

初めに市議会だよりについて協議いたします。

まず、次の市議会だより、64号になりますけれども、表紙の選定について事務局からの説明を求めます。

佐藤係長。

○**佐藤議事事務局議事調査担当係長** では、お配りしております資料1を御覧ください。令和3年3月1日発行、次回発行の市議会だよりの表紙の応募作品なんですが、このたびは御覧のとおり6作品応募がございました。応募がありました作品につきましては、ちょっとカラーのプリントがまたあまりきれいでなくて申し訳ないんですけども、添付しておりますので、その中から御選定いただけたらと思います。以上です。

○**岡村委員長** 今回、6作品を対象にということにしたいと思いますが、まず最初に皆さんから何かこの表紙の選定について、それぞれの作品などについてご意見などありませんでしょうか。また、質問でも結構です。

門脇委員。

○**門脇委員** すみません、ちょっと事務局にお尋ねしますけど、この表紙になった時に、タイトルもつけて書いてあるんですけど、どうでしたっけ。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 タイトルと御応募いただきました方のお名前を載せております。ちなみに、タイトルの読み方なんですけれども、確認させていただいてもよろしいでしょうか。

○岡村委員長 お願いします。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 2番には読み方を書かせていただいたんですけど、3番が「菜花の精」、4番が「秋光」、5番が「春のおやつ祭り」、6番が「早春の海」ということになっております。

○岡村委員長 門脇委員、よろしいでしょうか。

○門脇委員 はい。

○岡村委員長 そのほか、御意見などありませんでしょうか。

土光委員。

○土光委員 質問ですが、2番のタイトルは「木花咲耶姫」と写真と私は全然結びつかないというか。これはどういう意味なんですか。みんなは知ってる。

（「意味わかんないって、それは作家さんの思いだから。」と田村委員）

何の関係があるの。だって、これどういう意味、これ何。

〔発言する者あり〕

○岡村委員長 ちょっとなかなか、事務局のほうとしても……。

○土光委員 いや、わからないのが私だけでないということが分かりましたのでいいです。

〔発言する者あり〕

○岡村委員長 前原委員。

○前原委員 私も質問させてもらいます。3番の「菜花の精」ですか、これはそのままの写真なんですか、それとも加工してある写真なんですか。ちょっとよく分からないんですけど。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 御提出いただきました方は直接持ってこられたんですけど、どの作品も加工はしていないということです。

○岡村委員長 田村委員。

○田村委員 3番の撮影場所はどこか聞いておられますか。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 皆生というふうに伺っております。

○岡村委員長 門脇委員。

○門脇委員 すみません、一回に言えばよかったんですけど。あと、6番ですけど、よなご市議会だよりなんですけど、例えばこれを見るとたぶん日吉津から写してあると思うんですけど、こういうのは別にこだわらなくてよかったんですけど。

○岡村委員長 場所の選定ということですね。

○門脇委員 そうそう、場所の選定ですね。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 一応、募集内容として掲載しておりますのが、応募者が米子市内で撮影した写真で未発表のものとなっております。

(「撮影した場所は米子じゃないの。被写体は日吉津で。」と声あり)

(「違う、調べたんですよ。これ、日野川ね、ちょっとこっちまで日吉津だったんですよ。」と門脇委員)

(「望遠で撮ってるとか。」と声あり)

(「分かりました、ありがとうございます。」と門脇委員)

○岡村委員長 土光議員。

○土光委員 6番は、米子市内で撮影というのに該当すると思っていいんですか。候補になっているから。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会議務局議事調査担当係長 一応、御応募があったものを掲載しております。選定につきましては御協議いただけたらと思います。

○岡村委員長 土光議員。

○土光委員 これって米子市内で撮影されたものと思っていいんですか。それとも違うのですか。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会議務局議事調査担当係長 ちょっと、撮影者じゃないのでお答えできませんが。

(「うん、うん。」と土光委員)

○岡村委員長 そういうことも加味して選定していただくということになるかと思えますけれども。ほかに御意見なければ、毎回挙手をお願いしておりますけれども、そういう形で進めさせてもらってよろしいでしょうか。

[「はい」と声あり]

○岡村委員長 それでは順次、受付番号順に挙手をお願いしたいと思います。これはというものを。

1番の「ハイ！チーズ！！」。

[賛成者挙手…前原委員]

○岡村委員長 お一人。

2番の「木花咲耶姫」。ありません。

3番の「菜花の精」。

[賛成者挙手…安達委員、門脇委員、田村委員、矢田貝委員]

○岡村委員長 4人の方ですね。

念のために一応、4番の「秋光」。なし。

5番の「春のおやつ祭り」。なし。

6番の「早春の海」。

[賛成者挙手…土光委員]

○岡村委員長 お一人。それでは、3番の「菜花の精」これが4人の方に選定いただきました。ということでこの3番の「菜花の精」に決めさせてもらってよろしいでしょうか。

[「はい」と声あり]

○岡村委員長 では、そのようによろしく願います。

それでは、次に表紙応募作品の佳作の掲載について、前々回などから協議しておりますけれども、これについて協議したいと思います。

前回の委員会、令和2年11月10日で協議いたしました。議会だよりの表紙の選定から漏れた応募作品について、佳作等として紙面に掲載してはどうかということについて、今後、市議会だよりの編集の際に念頭に置いて協議し、進めていくと決定いたしました。佳作とする作品の選定方法や掲載方法、どのようなレイアウトにするのか、こういうことについて協議していきたいというふうに思います。委員の皆様から御提案をいただきたいといます。

田村委員。

**○田村委員** 出す号によって紙面の余裕と違っていうには違ってくると思うんですけども、要するにコンスタントなスペース、位置が確保できるのか、それとも号によって、例えばまとめて出すとかということを考えてほうがいいのか、事務局の見解を伺います。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** おっしゃいますとおり、例えば前回63号の議会だよりで裏一面に募集の記事を載せさせていただいているかと思いますが、号によっては裏一面取れずに3分の1くらいしか取れなかったりとか、以前説明したかと思うんですけども、陳情が多いときとか議案が多いときとか、あと代表質問されるときなんかは、やっぱりどうしてもそちらのほうに記事のページ数を割くことになるので必ずしも一面取れるとも言えず、それが約束できないんですけど。毎回何個陳情が出るとか、何個議案が出るとか、何人質問されるというのが決まってないので、これだけのスペースが必ず取れるっていうのは難しいかなとは、個人的な見解になって申し訳ないんですけど思っています。

**○岡村委員長** 田村委員。

**○田村委員** 分かりました。例えば、裏の募集の記事があるコーナーが結構なスペースを取っているんですけども、これらの告知については、すでに十分市民にも知れ渡って、チャレンジされる方はだんだん限られているっていうような状況ももしかするとあるのかも分かりませんが、都度あのスペースの告知があるのかなっていうふうに私自身は思っているんです。いわゆる簡単な内容でもいいのかなと。で、スペースというのはコンスタントに取れないかなっていうふうには考えています。これは意見です。

**○岡村委員長** 今、田村委員のほうから、告知スペースをもうちょっと狭めて、その分余裕をもって掲載してはどうかというふうな御意見だったと思いますけれども、そのほか皆さんから何か御意見ありませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○岡村委員長** なかなか、じゃあ次どういうふうに掲載するのかというふうな形で、またその作品を載せるのかというふうなこともあろうかと思えますけども、それも含めて、例えば次の64号の市議会だよりにどうするのかということについて、扱いをどうするのか、これについて事務局、何か案はございますか。次回どうするのか、できるのかどうなのか。

佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** できるできない、はっきりとはお答えできないんですけど、協議次第ということになるんですけど、応募された方が、今の応募の形式で応募してきておられるんですけど、基本的には自分の出した作品が、こういうふうにはA4でどんと表紙になることを前提に応募してきておられるので、もしかしたら一言、募集の時に佳作というふうな形でちょっと掲載させていただくこともあるとか、そういうお断りをしないとイケないかな、これは私の個

人的な見解なんですけど。そういうのがすぐできるかというのは、もうちょっと議論が必要ではないかなとは思っておりますが。委員の皆さんに御意見を伺いたいと思います。

**○岡村委員長** 表紙に掲載されることを前提に応募されているということになっているので、あらかじめそういう佳作などの別な形で紹介する場合はそういう告知が必要ではないかということになるのか。

佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** もうちょっと説明させていただきますと、今の募集の中では、一応応募作品の中から採用がない場合は、過去に御応募いただいた作品の中から選定しますとなっています。例えば、佳作はこれでしたというふうに掲載した場合に、その佳作はもう今後表紙として使うことがない、自分が出した作品はもう表紙になることはないのかとか、ちょっとそこら辺の扱いがまだ決まっていないので、もうちょっと協議が必要かなと思っています。

**○岡村委員長** 土光委員。

**○土光委員** ちょっとその前に、応募方法の詳細をちょっと、資料があったので見たのですが、応募するときは例えば写真の場合は撮影場所、年月日を明記の上というふうにちゃんと書いてるんだけど、明記ないものも今、ありましたよね。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** 応募いただくときには、住所、氏名、電話番号、撮影場所、年月日等を書いて出しておられますが、ここでは個人情報関係もありますので、委員会に配るといことは公にすることになるので、皆様に選定の際にお配りしているものには掲載しておりません。

**○岡村委員長** 土光委員。

**○土光委員** でも、6番の私が手を挙げたやつはどこで撮ったかよく把握してないということじゃなかったですか。

(「すみません。そういうことですか。」と佐藤議会事務局議事調査担当係長)

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** ちょっと帰って見てみないとわからないんですけど。書いてあったかどうかちょっとわからないので、今、確認が必要でしょうか。

(「いや、いいです。」と土光委員)

いいですか。はい。

**○岡村委員長** 土光委員。

**○土光委員** いや、ちょっと目についたので確認したかっただけです。この表紙のイラストに関してなのですが、これは私の意見ですが、私は表紙の一発勝負でいいのではないかと、緊張感もかえってあっていいのではないかとというふうに私は思っているのですが、ただ、せっかく応募いただいたんだから何らかの形で紙面に反映させようと検討することはやぶさかではないです。その時に、一つは先ほど言ったスペースの関係で、田村委員が言いました応募の告知スペース、割とちゃんと条件とか明記しないとイケないので、それなりのスペースを取っているのですが、この説明は私はいらぬと思うのですが、例えば工夫として、イラスト募集、詳細はホームページのどこかを見てください、QRコードを付けるとか、というやり方でもいい、そういう工夫はできるのではないかなというふうに思いました。それからもう一つは、佳作というか表紙に選ばれなかったのを何らかの形で掲載するときに、やはり佳作、誰がどういう基準で選ぶのか。それから、

例えば選ぶ対象、この間に応募したやつだけから選ぶのか、過去も含めて選ぶのか。それから、先ほど佐藤さんが言われましたけど、いったん佳作で取り上げられたのは、もうこれ以降表紙の候補にはなるのか、ならないのか。今の考え方は、過去の応募も一応表紙の候補になるということをやっていると思います。その辺のところを明確にしないと。検討するときに明確にする必要があるのではないかと。それから、もう一つは、ページによってカラー印刷、白黒印刷のページがありますよね。だから、必ずしもカラー印刷が保証されない場合もあるのではないかなと思うんですけど、その辺をどういうふうにか考えるのかという、そういった課題がそれなりにクリアされれば、何らかの形で反映させるというのは、それはそれでいいと思うんですけど、一応現時点での私の意見は、もう表紙は表紙で一発勝負がすっきりしていいんじゃないかというふうに私は思っています。

**○岡村委員長** 今、土光委員から様々な観点から論じていただきましたけども、なかなかじゃあ今すぐこれで、こういうふうな形でやりましょうということには、今の段階で論議は尽くされていないというふうに感じております。今、皆さんからいただいた御意見を整理いたしまして、次回に、こういった点についてはこういうふうにか考えてはどうかというふうな形で論議を深めていきたいというふうに思いますけども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** では、そういう形で、佐藤係長、論点をちょっとピックアップしていただけますでしょうか、ということでもよろしくをお願いします。

それでは次に、議会報告会の開催について協議をいたしたいと思っております。

前回の委員会で、開催する方向で準備を進めていくということも協議いたしました。開催の時期につきましては、6月定例会以降、また開催方法については、これまでどおり自治会連合会のブロックごとに開催するのか、または新型コロナウイルスの感染拡大状況により、広い会場で開催するのか等については今後協議していく、このように決定したところです。本日は、仮に今年6月定例会以降、これまでどおり自治会連合会のブロックごとに開催する場合、どのようなスケジュールになるのか、あらかじめ委員の皆さんと認識を共有しておきたいと思っております。資料につきまして、事務局からの説明を求めます。

佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** では、お配りしております資料2を御覧ください。議会報告会に向けた今後の一応スケジュール案なんですけれども、令和3年の7月下旬、先ほど委員長さんが言われましたけど、前回の委員会で6月定例会が終わってからするという方向で検討していくということで、市長選の後の定例会になりますと代表質問のある定例会になって、予定としては一応7月の中旬くらいまで6月定例会が開かれるんじゃないかなと思っておりまして、ここに挙げておりますスケジュールが、7月下旬に自治連合会のブロックごとに、今までみたいに開催する場合にはこういうスケジュールになるということで載せております。一応、そこに書いております、まず時期なんですけれども、3月定例会中には広報広聴委員会を開催して、今までは開催日程だとか班構成だとか、テーマ、内容だとかを協議して形をつくっていくということで、あと資料作成班というのを広報広聴委員会で毎年つくっておられまして、資料の作成を進めていくということも3月定例会中には始めていただくこととなります。

2段目ですけど、4月の中旬の閉会中の委員会のころにはチラシも出来上がって、自治連合会

さんへのチラシ回覧の依頼の文章とかも出来上がって、資料もだんだん形ができていくと、スライドになる資料もできていくということになります。

3 段目、4 月の中旬から下旬ぐらいには、正副委員長さんが自治連合会の常任委員会に出席されて、チラシの回覧の依頼の説明をしていただくことになると思います。5 月の上旬ぐらいには、チラシ回覧の袋詰めを各班か、もしくは広報広聴委員会、前は広報広聴委員さんに集まっていた委員会で袋詰めを行ったんですけども、そういう作業が必要になりますし、同じような頃にはまた班会議を開いて各班でいろんなことを協議していただいて、決定していただくというようなことが必要となります。同じく5 月の中旬の閉会中の委員会ぐらいには、もう班の役割分担も決まって、説明資料も出来上がってということになりまして、6 月定例会が始まる時には議会運営委員会で内容について承認をいただくということになります。御存じのとおり、委員も改選となりますので、その状態で次の広報広聴委員会に引き継いでいただいて、あとは資料をホームページで公開したりとか、報告会を開催する。一応、7 月下旬に今までどおりブロックごとにやるところという感じのスケジュールになるということをお知らせいただけたらと思ひまして配らせていただきました。以上です。

**○岡村委員長** 今、説明いただきました。これについて、何か皆さんから質問とか御意見、ございませんでしょうか。

佐藤係長。

**○佐藤議事事務局議事調査担当係長** 前回は協議していただいたし、先ほど委員長さんも言われましたけど、もしブロックごとじゃなくて、例えばどこか大きな会場を借りて、距離を取って座ってもらってやるということになると、班の準備だとか、班の動きっていうのはなくなるのか、何回開催するのにもよるんですけど、そういうところはちょっと変わってくるんですが、基本的には3 月の定例会中には形をつくっていくというところは変わらないかなと思っております。以上です。

**○岡村委員長** 皆さんから御意見ありませんでしょうか。一応、今日提示していただきましたのは、6 月定例会が終わった後の7 月下旬に開催することを前提に、だいたいこういうスケジュール感で進めたらどうかと、これまでの状況からこういう進め方になるんじゃないかということで提示していただきました。

安達委員。

**○安達委員** 今、佐藤さんから日程を7 月下旬のところまで説明を受けたんですが、コロナ禍の状況が大きく変わる、今の状況がどっちに変わるかの前提をもって判断をしなければいけないのかなというところで、この真ん中にある4 月中下旬、自治会の常任委員会で回覧依頼、そのあたりの状況で、この委員会が開催の判断を決するっていうのかな、そこら辺が一致して考えとかないといけんのかなというのが、そのスケジュール感です。どこでどの段階をもって開催をしてもいい、いや、やっぱりこれはすべきじゃないっていう判断がどの段階で決するべきか、もう少し確認していきたいと思うんですが、どうでしょうか。

**○岡村委員長** 今、安達委員から、コロナの感染状況を踏まえてということだと思いますけれども。とりあえず3 月の下旬に開かれる広報広聴委員会でこれまでどおりの自治連合会のブロックごとに開催するのか、それとも広い会場で開催するのかというふうなところを見極めると。そして、4 月中旬の開催の広報広聴委員会でチラシ回覧依頼文についてということになりますので、

この時点では、もうやるのかやらないのかということも含めて、そしてブロックごとなのかそれとも広い会場であるのかということも決定しておかないとチラシもつくれませんので、そういう状況になるかと思えます。そういう段階を踏まえて、コロナの感染状況を踏まえて進めていくということになるかと思えますけれども、皆さんの御意見は何かありますでしょうか。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 今、4市の議員研修をやっている中での話で、この皆さんが終わられているかどうかかわからないので申し訳ないんですけども、今この自治連合会のブロックごとに開催するというところで、今、安達委員がおっしゃいました開催単位をどうするのかとか、会場をどうするのかという選択しかないのかということについて、ちょっと参加された方からしか聞けないかもしれないけれども、意見を交わしてみてもどうかと思うんです。私の中では、やるやらないということ、それから、もし開催単位を判断したとしても、今までどおりに広報すれば入場制限ってかけられないわけですよ、来てもらいたいっていう広報をするわけですから。仮に感染者数が落ち着いていたとしても、しっかりと感染対策は引き続きしないといけない中で、それだけを判断していくってところが3月下旬までないのかってところが少々不安に思うところなんですけれども。どうでしょうか、この広報広聴委員会の議会報告会に向かった資料作成班っていうところと、また開催方法についての班だけなのか、私たちの中でもしっかりと議論をしていければなと思えますけれども。

**○岡村委員長** 感染状況を見極めながらの開催方法をどうするのかということだと思えますけれども、例えば3月下旬の広報広聴委員会まで待っていいのかどうかということも含めて、例えばもうちょっと適宜、議論を深めていくことが必要じゃないかというふうな御意見じゃないかと思えますけれども、よろしかったでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** やること前提で進めるということで、実際こういうスケジュールが出ていると思います。そうすると、やるためには1か所なのかブロックごとなのか、それからそういう前提で進めていって、本当に最終的にコロナの状況を見て、するのかしないのか、そういう判断が迫られると思うんですが。例えば、要はチラシをつくらないといけないので、3月の時点でブロックごとか1か所かというのを決める、これは私の私案です、そうするとチラシが作成できると思います。やりますよという前提で、自治連とかにもいろんなお知らせをする。ただ、最終的にコロナの状況によって中止になることもあり得ますということを書けばいいと思うんですよ。そういう前提でチラシをつくって、やるという前提でいろいろお知らせして、最終的に中止をする場合は6月ぐらいできちっとお知らせするというふうな感じかなと思うのですが、どうでしょうか。

**○岡村委員長** 土光委員のほうから、そういう進め方でどうだろうかということの御提案がありましたけれども、皆さんの御意見はいかがでしょうか。開かれた議会にしていくということで設けた議会報告会ですので、できる限り開催していきたいというふうに考えておりますけれども、このコロナの感染状況っていうものをしっかりと見極めていくということが求められますので、今の、土光委員が御提案されたそういった進め方、3月の広報広聴委員会で全体4ブロックでやるのか、それとも広い会場で開催するのかというふうなところを決めた上で進めていくということでしたけれども、それで感染状況によっては中止もあり得るということも含めて広報すると、チラシに書

き込むということも含めてやったらどうかということだったと思いますけれども。

田村委員。

**○田村委員** これ事務局にお尋ねなんですけれども、明らかにフェーズが変わった状況の中で、本市の開かれた議会に対する思いというのは非常に素晴らしいと思うし、今のこのスケジュール感というのはぜひ即してやりたいという気持ちはもちろんあるのですが、他市の状況であるとか、これまで実際に議会報告会を実施されている他市の状況がどうなのかという情報の収集というのは、今までされてますか。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** 一応、鳥取市さんだとかも中止しておられますし、松江市さんだったかな。ちょっとごめんなさい、記憶が定かではないんですが。前回中止を決定したとき、あとこのたびしていこうというときに、ちょっとネットでさくっと調べさせてはいただいたんですが、だいたいどこも中止しておられたように、具体的にどこの市が何月ってというのは覚えてないんですけど、今のところは中止をしておられるところが多かったかなと、去年はですね、把握しております。

**○岡村委員長** 田村委員

**○田村委員** たぶんそれが賢明な判断だと思いますし、去年の状態ですら、さらにフェーズが深刻度を増している状況の中で、それから今年一年について改善しているかっていったら、それは私は大いに疑問があります。先ほど、進めるということに関して私は全く異論はないんですけれども、実際にフライヤーを刷って、そういうのはやめます、そういうこともあり得ますというようなことをいったって、このフライヤーも税金で刷るわけで、やはりそういう無駄なことというのは一切やりたくないというのは私の見解です。その判断というのは、やはり我々も他市の状況というのを知りたいですし、委員さんであつたりとかほかの議員さんに対しても、今こういうことで来年、事務局さんにもリサーチをかけていただいてこういう流れなんですけれども、皆さんどうでしょうかということのお話で、このスケジュール感をもう一回考えるというふうにされたらいかがかと思います。以上です。

**○岡村委員長** ありがとうございます。このことについて、委員の皆さん、何か御意見ありませんでしょうか。本当に田村委員おっしゃるように、今の感染状況の中、本当に大丈夫なのかという不安っていうのはどうしてもぬぐえないというふうに思います。他市の状況などももう一遍精査して、調べていただいて、また次回の広報広聴委員会で、このまま進めていいのかどうかということも含めて議論をしていただきたいというふうに思いますけれども、そういう形よろしいでしょうか。

門脇委員。

**○門脇委員** 今、田村委員が言われましたけど、前回まで4月に議会報告会、あつた場合に、委員会のほうから4月にやる場合は12月中に結論を出さないといけないんじゃないかというような意見もあつたと思うんですけど、ちょっと将来的なことでコロナの関係がどうなるか分かりませんが、この考え方で行くと3月の委員会の時には結論を出して、やるかやらないかということですね、コロナの状況によって。土光委員のほうから進めていくような話も出しましたが、私は3月の時にきちんと決めて、進めていかれたらどうかなと思いますけども。で、仮に、じゃやるんだということで進めていって、ちょっと局面がまた、コロナの状況が変わって、どうもで

きないようでしたら、それはそれで、先ほど土光委員が言われたようなふうにやっていけばいいんじゃないかなと思います。

**○岡村委員長** ありがとうございます。今後、どういうふうな状況になるのかということが、なかなか見極めにくい状況ではありますけども、ただやはり、3月の時点でははっきりやる、やらないということについては、チラシをつくっていくかということもありますので、先ほど田村委員が言われました、つくるのにもやっぱり税金だということだと思います、そういったところも踏まえてしっかりとした判断を下して、やるやらないというものを決めていくということに、3月の時点でやっていくということで進めていきたいと思います。そういった方向でよろしいでしょうか。その時には、他市の状況も含めてもう一遍参考にしていただきながら、できるように論議を進めていけるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。何かこのことについて、ほかに御意見はありませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○岡村委員長** では、佐藤係長、他市の状況というのをしらべて、最新の状況をですね、お願いします。

それでは、次にその他になりますけども、皆さんのほうから何かございませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○岡村委員長** じゃ、なしということで、それでは以上で広報広聴委員会を閉会します。

**午後1時39分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 岡 村 英 治